

お問合せ先

【ペットの飼養に関すること】

災害時、負傷動物の保護、行方不明動物の情報収集・提供、
ペットの一時預け先相談、避難所でのペットの飼育支援等を行います。

動物愛護センター

TEL 082-243-6058 FAX 082-243-6276

E-mail dobutsu@city.hiroshima.lg.jp

【避難場所に関すること】

危機管理室災害予防課

TEL 082-504-2664 FAX 082-504-2802

E-mail saigaiyobo@city.hiroshima.lg.jp

避難所におけるペットの飼育場所等については、お住まいの区役所
地域起こし推進課にご確認ください。

中区役所	地域起こし推進課	TEL 082-504-2820 E-mail na-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
東区役所	地域起こし推進課	TEL 082-568-7705 E-mail hi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
南区役所	地域起こし推進課	TEL 082-250-8935 E-mail mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
西区役所	地域起こし推進課	TEL 082-532-0927 E-mail ni-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安佐南区役所	地域起こし推進課	TEL 082-831-4926 E-mail am-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安佐北区役所	地域起こし推進課	TEL 082-819-3905 E-mail as-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
安芸区役所	地域起こし推進課	TEL 082-821-4905 E-mail ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
佐伯区役所	地域起こし推進課	TEL 082-943-9704 E-mail sa-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

保存版

ペットとあなたの 災害対策ハンドブック



令和6年1月
広島市

🐾 備えよう！日頃の備えと心がけ

災害はいつ発生するかわかりません。日頃からペットの健康を保ち、習性や性格に合った飼い方を心がけ、他者に迷惑をかけないようにしましょう。

1 健康管理～感染症の予防のために

- (犬の場合) 毎年、狂犬病予防注射を受けさせる。
- ノミやダニ、寄生虫の予防・駆除をしておく。
- 感染症予防の混合ワクチンなどを接種しておく。



2 しつけ～ペットが周りに迷惑をかけないように ペットのストレスを軽減するために

- ケージやキャリーバックに入ることに慣れさせる。
- トイレは決められた場所でする。
- 人に攻撃的であったり、むやみに吠えたり、人を怖がったりしないよう、他人に慣れさせておく。
- (犬の場合) 「待て」「おいで」「ハウス」などの基本的なことができる。
- (猫の場合) 室内で飼育する(放し飼いだと災害時に行方不明になることが多い。)



3 飼い主明示～もしものときに、ペットと再会するために

- 飼い主の連絡先を記入した迷子札やマイクロチップを装着する。
- (犬の場合) 首輪などに犬鑑札・狂犬病予防注射済票を装着する。

※犬には鑑札、狂犬病予防注射済票を装着することが飼い主に義務づけられています。鑑札や注射済票の番号から飼い主情報が割り出せます。



鑑札



狂犬病予防注射済票

4 安全確保～あなたとペットのケガを防ぐために

- 家具の固定などの転倒防止や、ブロック塀やガラス窓の近くにペットの居住スペースを設けないなどの防災対策を行う。
- 首輪や鎖、リードが外れたり、切れたりすることがないか点検する。
- ペットを連れての避難経路を確認しておく。

5 避難用品の準備～ペットとの生活のために

ペットの命や健康に係るものを最優先に、ペットの避難用品を準備しましょう。

👉 人が運べる重さの目安は10～15kgが限界

運べる荷物は、女性で10kg、男性で15kgが限界と言われています。ペットやキャリーも含めての重量です。

👉 ローリングストック法で賢く備蓄

普段から少し多めにストックしておき、日常生活で備蓄を使用し、常に新しいものに入れ替える方法です。

ペット用避難用品チェックリスト

- 療法食・薬
- ペットフード・水(少なくとも5日分)
- キャリーバッグやケージ
(猫や小動物の避難時に必要です。)
- 首輪・リード(伸びないもの)
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品(ペットシート、猫の場合は使い慣れた猫砂)
- ペットの写真(万が一ペットが迷子になってしまったときに必要)
- 健康記録(ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、かかりつけ動物病院の情報等) ※6ページを参考にしてください。



6 一時預け先の確保～ペットのストレスを軽減するために

災害時には、ペットにも大きなストレスがかかります。日頃から、親戚、ペットホテル、かかりつけの動物病院などにあらかじめ相談し、複数の一時預け先を確保しておきましょう。

災害が起きたら

🐾 ペットの同行避難

災害は突然起こります。いざという時、ペットを守れるのは飼い主だけです。

まず、飼い主が無事であること、そして避難する場合にはペットと一緒に安全に避難すること（同行避難※）が基本です。

※同行避難とは、避難行動を表す言葉であり、避難所でペットを人間と同室で飼育することを意味するものではありません。



🐾 避難所で受け入れられるペット

原則として、自宅から飼い主と同行避難した愛玩用の犬・猫やその他小動物（ハムスター、ウサギ、小鳥など）です。ペット業者が所有する営業用の動物や、人やペットに危害を及ぼすと思われる動物は受け入れられません。

※「身体障害者補助犬法」で定める盲導犬、介助犬及び聴導犬（以下「補助犬」という。）は、補助犬を使用する避難者（身体障害者）と同じ居室で受け入れられます。

一緒に連れて行けますか？（日頃からの備え）

・頭数を考える

一緒に連れて避難できる頭数は限られています。よく考えて適切な頭数を飼いましょう。既に複数頭を飼育されていて家族だけで避難が難しい場合は、ご近所や飼い主仲間などにお問い合わせしておきましょう。

・猫は室内飼い

猫が外にいますと、災害が起きても呼び戻しできず、避難の時に連れて行けません。猫を室内で飼うことは、普段から猫の健康と安全を守ると同時に、災害の重要な備えです。

🐾 同行避難する際の準備

犬の場合

- リードを付け、首輪がすっぽり抜けられないよう調整し（人の指がちょうど1本入るぐらいがちょうどよい長さ）、鑑札、狂犬病予防注射済票を装着しているか確認する。
- 小型犬はリードをつけた上で、キャリーバッグやケージに入れる。
- 避難用品を持って避難所に向かう。

猫の場合

- キャリーバッグやケージに入れる。
- キャリーバッグなどの扉が開いて猫が逃げ出さないようにガムテープなどで補強する。
- 避難用品を持って避難所へ向かう。



🐾 避難所での受け入れ

災害時には、原則、全ての避難所※へペットを連れて避難することができます。同行避難後、避難所でペットを受け入れる際は、人とペットのスペースを分けることが基本です。

※災害の状況によっては、一部困難な施設もありますので、詳しくはお住まいの区役所地域起こし推進課へお問い合わせください。

人とペットのスペースを分けることで…

- ・動物の苦手な方やアレルギーのある方等に配慮します。
- ・人と動物が同じ場所で過ごすことによるトラブルを低減させることができます。

🐾 ペットの受入れスペース

避難所におけるペットの飼育スペースは、室内ではなく体育館の軒下などの屋根のある屋外が基本であり、飼い主が持参したケージやキャリーバッグなどに入れて飼育することになります。

ペットは飼い主が責任を持って、ふん尿処理や給餌などの世話を行います。

ペットの無駄吠えなどは他の避難者の迷惑となります。避難所で生活されている方に最大限配慮しましょう。

トラブルが生じた場合は、飼い主が責任を持って対処しましょう。

ペットにとっても、避難所での長期生活はストレスとなりますので、可能な限り親戚の方など一時預け先に預けましょう。

車やテント避難の注意点

車やテントは、ある程度プライバシーが保てますが、車の場合は、エコノミークラス症候群や熱中症への注意が必要です。

テントの場合は、寒暖の差や強風、豪雨時には適さないなどのデメリットもあります。

ペットだけを車内やテントに残すときは、車内等の温度に常に注意し、十分な飲み水を用意しておきましょう。

長時間、車等を離れる場合には、ペットを安全な飼育スペースに移動させましょう。



ペットとはぐれてしまった時は

飼い主のわからない放浪動物やケガをした動物は、動物愛護センターや警察署で収容・保護されます。

ペットとはぐれた場合は、動物愛護センター（082-243-6058）やお近くの警察署へご連絡ください。

ペットや飼い主の情報を記入して、防災用品などと一緒に保管しておきましょう。

ペットの情報			
顔のアップの写真 (できれば飼い主と一緒にうつっているもの)		全身の写真 (できれば模様やしっぽの形など特徴がわかるもの)	
			
名前		性別	
種類		体重	
毛色		生年月日	
マイクロチップ番号		鑑札番号	
狂犬病予防注射	未 ・ 済 最近の接種日		
ワクチン接種	未 ・ 済 最近の接種日		
既往歴	(持病、飲んでいる薬、アレルギーなど)		
性格			
特徴			
かかりつけの動物病院	電話		
飼い主の情報			
氏名			
住所			
電話番号			